

ご挨拶

- ①出身地 ②研究内容
③趣味 ④好きな言葉



教育・研究力のある広島大学AROの構築に向けて

杉山 大介

トランスレーショナルリサーチセンター 教授

*協力講座名「トランスレーショナルリサーチ（橋渡し研究）」

- ①静岡県 ②橋渡し研究・再生医療・血液学 ③剣道（コロナ禍で中断） ④黙照

日本は、既に欧米で整備されてきた、Academic Research Organization（ARO）と称される機能を日本の各大学へ導入することを推進しています。広島大学もAROの整備に着手しており、教育・研究力向上を目指し、協力講座の設置に至りました。

私は内科医をバックグラウンドとし、フランス・アメリカの留学を経験してから、基礎研究者として2006年より九州大学に奉職しました。生理活性ペプチドの発見を契機に、知財マネジメント、起業、産学連携交渉を経験し、2012年からは九州大学AROに所属し、シーズ発掘・育成、開発コーディネートなどの業務を推進してきました。

橋渡し研究は守備範囲が広く、なんでも取り扱う傾向がありますが、新しいことにチャレンジしやすい領域です。皆様と一緒に、教育・研究力のあるAROの構築へ向けて頑張ります。どうぞよろしくお願い致します。



医系科学研究科協力講座への参画のご挨拶

丸山 史人

学術・社会連携室 教授

*協力講座名「環境遺伝生態学」

- ①神奈川県 ②ゲノム科学を駆使した環境微生物相互作用・動態とヒトとの共存に向けた研究 ③酒都西条の酒蔵めぐりと地域名産発掘 ④幸運は用意された心のみ
に宿る - Louis Pasteur -

微生物が微生物同士や共生宿主、環境と同相互作用して生息しているのかの解明を実験・ビッグデータ解析の両面から取り組んでいます。特に、バイオエアロゾル（ウイルス、細菌、真菌）の気候変動への影響、居住空間の病原微生物動態、養殖場の抗生物質耐性に着目しています（研究詳細は研究室のホームページを見ていただければと思います）。

これからは、本研究科の協力講座として、治療法の確立していない未知の感染症の予防や対策に資する教育、アウトリーチ、学内外、国内外との学際研究、シチズンサイエンスを含む産官学連携を進めていきたいと思っておりますので、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。